

令和6年度 学校評価報告書（目標設定・中間報告・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		中間報告		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（ 月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	・工業の専門性の向上を図り、实际的・体験的学習に重点を置くとともに、産業界の求める人材を育成するため、知識・技術の習得のみならず、主体的に学ぶ意欲の向上を図り、学校全体でカリキュラム・マネジメントに取り組む。	①生徒が主体的に学習に取り組むことで、学んだ知識や技能がより確かなものになるよう魅力ある授業の展開を目指す。 ②情報端末を積極的に活用して、デジタル社会の実現に向けた人材の育成を図る。 ③生徒の多様な学習ニーズに応じた教育課程の編成を目指す。	①生徒が自ら課題を解決するために必要な能力の育成が図れるよう、授業計画や評価の方法を工夫する。 ②様々な機会の情報端末の活用を進めるとともに、研究授業・研究協議を開催する等、組織的に積極的な活用を促していく。 ③多様な学修機会を生徒に提示して、生徒が自分の進路にあった学習が行えるよう環境を整備していく。	①生徒自身が主体的に授業に取り組む授業を計画、展開することができたか。また、その評価を活用することができたか。 ②情報端末を活用した授業実践のための技術や情報を共有することができたか。また、組織的に改善が図れたか。 ③キャリア教育と併せて、生徒が希望する進路や学力の向上を図ることができ環境が整備できたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	・豊かな人間性の育成を図るために、学校生活の基礎を作るための生徒支援・教育相談の充実とともに、個に応じた生徒支援と相談体制の一層の充実により生徒理解に努め、生徒が安心して学べる学校づくりを進める。 ・生徒が中心となって、活動する学校行事を通して、社会に主体的に関わろうとする意欲を高める。	①個に応じた支援体制の充実をめざし、職員全体の生徒指導・支援スキルの向上を図る。 ②生徒が積極的に参加できる学校行事の運営を目指す。	①職員研修やケース会議等を実施し、心の健全・身体的安全等に関する支援スキルを向上させる。また、生徒情報交換会やかながわ子どもサポートドック等を実施し、情報共有と生徒理解を深める。 ②生徒が中心となって学校行事を運営できるように取り組む。少人数ながらも積極的にイベントに取り組めるような環境づくりを行う。	①生徒個々の理解を深め、個に応じた支援・指導を実施することができたか。生徒の日常行動や意識が向上したか。教員と生徒の間で信頼関係を築けたか。 ②生徒が中心となるような行事の運営や実施ができたか。多くの生徒が積極的に行事に参加できたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		中間報告		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	・多様な生き方に対応した情報収集や情報提供を行い、働くことを理解できるよう入学から卒業までの体系化したキャリア教育を確実に実践し、社会を構成する一員としての自覚を育む進路指導・支援に取り組む。	①キャリア教育実践プログラムを基に、進路ガイダンスやLHRを活用した体系的な計画を立て、生徒一人一人の進路を実現する。 ②生徒の就職に対する考え方、職種や業種研究、社会人としてのマナーを学ぶ機会を設け人材育成を図る。	①昨年度に引き続きキャリア教育実践プログラムを共有するために様々な場面で発信していく。 ①昨年に引き続き、年間を通して各学年の進路ガイダンスとLHRの取組みを体系化する。 ②インターンシップを実施し生徒のキャリア教育の充実を図る。	①キャリア教育実践プログラムの情報発信ができたか。 ①進路ガイダンスとLHRの体系化ができたか。 ②インターンシップを実施することで、生徒の就職に対する意識や心構えを改善できたか。					
4	地域等との協働	・地域・企業との連携・協働を通して教育活動を活性化させ、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。	①地域に根ざした学校づくりを目標に、貢献活動や地域との連携・協働していく。 ②学校PRのため、定時制HPの更新に努め中学生やその保護者への学校情報の発信に努める。	①地域行事への参加等貢献する意識を啓発する。企業との積極的なかわりを持つ。 ②本校HPを活用して学校のPRや情報を発信する。	①全校生徒が、地域貢献活動に参加できたか。 ②HP更新回数が増えたか。学校説明会において本校の教育内容が理解されたかをアンケートで理解が得られているか。					
5	学校管理 学校運営	・不祥事防止の徹底に取り組むとともに、防災意識を高め学校防災力の向上を図る。 ・生徒と向き合う時間を確保するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①常に危機管理意識を持ち信頼される学校づくりを目指す。 ②ICTや教育データ等を有効活用し業務を効率的に行い生徒に向き合う時間を確保する。	①毎月不祥事防止研修会を職員会議前に行う。 ①適正な私費会計処理に努め、事故防止の意識をもって業務に当たる。 ①防災意識を高めて災害時の対応能力を身に付けさせる。 ②職員連絡ツールの活用を図り業務の効率化を目指し生徒と向き合う時間を確保する。	①毎月不祥事防止研修会が実施できたか。 ①私費会計が適正に処理されているか。 ①避難訓練を計画的に実施できたか。 ②Teams 掲示板を有効活用し業務の効率化が図れているか。 ②面談週間等の時間の確保が取れたか。					